

2017（平成 29）年度 事業報告書

社会福祉法人エデンの園

第 1 種社会福祉事業、障がい福祉サービス事業、社会・地域貢献事業

○障がい者支援施設エデンの園

○エデンの園ふれあい（生活介護）

○エデンの園グループホーム

（ホームみらい、いこいの家、のぞみの家、青い鳥）

○エデンの園相談支援事業所

○放課後等デイサービス麦わらぼうし

○社会貢献・地域貢献

（みやざき安心セーフティネット、じょい・ほっぷ）

2017年（平成29年）年度事業報告書目次

(ページ数)

1. 平成29年度を振り返って	1～3
2. 平成29年度業務日誌	4～15
3. 本部事業（理事会・評議員会・寄付金）	16～18
4. 生活支援課（障がい者支援施設エデンの園）	
1.事業報告 2.重点目標	19～20
3.活動総括 4.花の街 5.風の街 6.ちゅら班	21～24
7.医務事業報告	25～26
8.給食状況	27
9.行事報告	28～30
10.防 災	31～32
11.苦情解決（相談）《はびねすの窓》	33～34
12.ヒヤリハット・事故報告	35
13.ボランティア受入 14.地域交流 15.実習生受入	36
16.ショートステイ 17.土曜学校	37
18.新任教育	38
5. 地域福祉課 事業報告・重点目標・貢献事業	39～42
1. エデンの園ふれあい	
総括・重点目標	43～44
業務日誌	45～51
活動総括	52～56
行事報告	56～60
レクリエーション・防災訓練	61
2. エデンの園グループホーム	
総括・重点目標・職務内容・年間行事	61～66
3. 相談支援事業（エデンの園相談支援事業所）	
総括	67～68
4. 放課後等デイサービス（放課後等デイサービス麦わらぼうし）	
総括・重点目標	69
活動報告	70～71
行事報告	72～74
防災訓練・事故報告	75
6. 社会貢献事業・地域貢献事業	76
7. 研修・出張	77～79
8. 職員配置	80～81

1. 平成 29 年度を振り返って

業務執行理事 廣瀬 恵

社会福祉法人制度改革の要請でもある法人の統治のさらなる充実のために、法人内の各課の課長が理事として選任された。また、地域の障がい者が利用するグループホーム建設用地を竹田地区に購入した。中長期計画にそって就労継続支援 B 型事業所の平成 30 年開設にむけ準備した。

(1) 法人－理事による法人運営－

法人内の各事業を統括する各課の課長 3 名に外部有識者を迎え、内在する課題に対してきめ細かにスピーディーに対応することになった。また、中長期プランに基づくビジョンの実現に対して責任と権限をもって推進することとした。理事長、施設長（業務執行理事）、各課課長、事務局長で構成する経営委員会等で、各事業所の課題解決について協議し、事業の進捗状況等を確認するようにした。しかし、生活や活動の環境を整え、利用者が喜びや生きがいを感じるためのリーダーシップ、あるいは職員の意欲向上に資するリーダーシップの発揮と言う点では力不足を感じている。現状維持を目標とすることは、サービスの質の低下、働く意欲の低下につながることを肝に銘じたいと思う。理事一人ひとりが各事業の職員とより密に話し合うことが必要である。その上で利用者のニーズを的確に捉え、支援力（技術、知識、チームワークその他）を分析し、向上を図りつつ、職員を適材適所に配置する必要がある。また、福祉の動向、労働環境、などに対する見識を深め、将来を意識したリーダーシップを発揮することが求められている。さらに、次代をになうリーダーの養成を意図的に行っていきたい。

なお、社会福祉充実計画（5 年）が立てられ、各理事、事務局がそれぞれ担当し予定通り行うことができた。

(2) 中長期計画と取組み

平成 27 年度策定の中長期計画について年度当初の計画に沿って事業を行った。

① 生きがいある生活

- 就労継続支援 B 型事業所を綾町に開設し、平成 30 年度から運営する（定員 20 名）。利用者・職員の公募により「つむぎ」と命名し、事業所内外での就労を行う予定である。
- 竹田地区に新たなグループホーム等の用地を購入した。宮崎県や国富町とも協議し、定員 7 名、ショートステイ 1 名を整備する計画をあげている。なお、平成 30 年度社会福祉施設整備（グループホーム）に関する申請書を宮崎県に提出した。

② 安心できる高齢者支援の仕組み

- 理事に前特別養護老人ホーム施設長を迎え（非常勤）た。高齢者棟として改修工事した「花の街」で支援や介護の考え方や技術の指導を受けつつより良いプログラムや環境を整えるように努力している。
- 喀痰吸引研修に 2 名派遣し、研修を終了した。現在、法人内で 2 名が研修を終えており、1 名は実地研修中である。

③ 地域のニーズに応える

- グループホームに看護師を配置し（兼務）、グループホームの利用者の高齢化に対応している。現在疾病等が顕著なホーム利用者はいないが、ホームを訪問しバイタルチェックを行うと共に、本人や職員等に聞き取りや健康指導を行っている。
- 地域に根付いた事業運営等を学ぶために、熊本県菊池市を中心に事業を行っている社会福祉法人菊愛会の事業を9名で視察・研修した。本業の各事業所の充実が地域の信頼につながっていた。同時に地域のニーズの把握や地域に開かれた法人としての地域への働きかけが必要である。
- 他の社会福祉法人とともに地域貢献事業「みやざき安心セーフティネット事業」として生計困難者の支援・相談を行った。

(3) 人材（財）確保と育成

- 職員採用 4月に生活支援員4名を採用した。また、新事業に備えて生活支援員3名、理学療法士1名を途中で採用した。退職者に対応するため看護師2名、相談支援専門員1名を採用した。
- 新人教育 新人生活支援員を対象に、3ヶ月間新人教育を行った。理念、制度、必要な知識を座学で行い、その後OJTを組み合わせ、ひと月に1回研修委員で研修を評価しながらすすめた。
- 園内外の研修
強度行動障がい支援者養成研修、権利擁護研修、喀痰吸引研修等に参加した。他、宮崎県社会福祉協議会が主催する研修を受けた。
- 人事評価
職員の成長を目的にした人事評価の3年目であった。各人が5月と11月に一次評価、二次評価を受けた。考課者の研修も行われ、人材育成の観点を失わずに進めていく必要を認識した。

(4) 働きやすい職場づくり

平成27年度にユースエール認定を受け、本年度も改めて認定を受けた。同一労働同一賃金。夜勤の入り時間を5時間繰り下げ、午後3時とした。次年度に向け夏季休暇制度を設けることを定めた。また次年度以降、段階的に定年制の延長を行う予定である。

(5) その他

- ① 前年度のグループホーム「青い鳥」への施設から地域への移行により、障がい者支援施設の入所定員を68名から60名とした。また次年度に生活介護の定員を65名から60名とすることとしている。
- ② 前年度施設改築に伴う面積変更やグループホーム等の用地取得に伴い定款を変更した。
- ③ 就業規則（夏季特別休暇新設など）、職員給与規程、役員報酬規程、経理規程、情報公開規定、を一部改正した。
- ④ 家族との連携委員会を定期的（3回）に開き、家族の視点で施設の支援の在り方を評価していただいた。
- ⑤ 第38回全国盲重複障がい者施設研究大会 宮崎大会（3度目）を主管した。全国から120名の職員や家族が集い熱心な意見交換がなされた。エデンの園ふれあいのSKBや高山さんがアトラクションで出演し好評を博した。

(6) 利用者の年齢（施設とグループホーム）

(歳)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	平均	平均
施設 62人	男30人	0	4	5	11	8	1	1		45.7	50.6
	女32人	1	0	0	11	12	3	4	1	55.7	
GH 23人	男19人			1	6	9	3			52.6	52.8
	女4人		1			1	1	1		54.3	
85人		1	5	6	28	30	8	6	1		50.8

H30年4月1日

(7) 入所者の施設での生活年数

(年)

		0～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36～40	平均	平均
施設 62人	男30	5	2	6	3	2	7	0	5	20.0	22.7
	女32	2	3	4	2	3	7	2	9	25.1	
GH 23人	男19	7	2	7	3					8.5	8.0
	女4	1	3							5.7	

H30年4月1日

(8) 利用定員と実績

事業所(定員)	H29年 4月1日	増	減	H30年 3月31日
障害者支援施設エデンの園(入所60名)	60名	3	1	62名
障害者支援施設エデンの園(生活介護65名)	65名	3	1	67名
生活介護事業所エデンの園ふれあい(20名)	21名	3	0	24名
エデンの園グループホーム(23名)	23名	0	0	23名
放課後等デイ麦わらぼうし(10名)	8名	5	0	13名

(増減の内容)

障害者支援施設(入所)	増	=自宅より1名、病院より1名、児童施設より1名
	減	=自宅へ1名
障害者支援施設(生活介護)	増	=自宅より1名、病院より1名、児童施設より1名
	減	=自宅へ1名
エデンの園ふれあい	増	=地域から3名(他の生活介護を併用)

(9) 相談支援実績

	新規契約者	事業所変更	計画	継続支援(モニタリング)	終了者
件数	36(16)	5(1)	115(35)	200(28)	4(1)

()はその内の児童数
契約者数170名(内児童30名)

2. 平成29年度業務日誌

平成29年度 日誌 4月

日	曜	内 容
1	土	辞令交付、土曜学校（金牧師）、ふれあい便り発行 129号発行
2	日	
3	月	辞令交付、新任職員研修、全体会、記念撮影、新任職員研修
4	火	平成29年度第1回理事会、第1回評議員会、 新任職員研修、合併処理施設点検（産商） 栄養管理委員会
5	水	琴とパンフルートのコンサート（理事長・前橋様）、 クラブ活動、ケア会議、新任職員研修
6	木	新任職員研修、グループホーム建設について県と協議
7	金	新任職員研修、人事評価研修（本嶋社労士）
8	土	土曜学校（印牧師）
9	日	カウンセリング基礎講座（延岡市 渡部）
10	月	新任職員研修、明星視覚支援学校入学式（林）
11	火	新任職員研修、定例運営委員会、電気設備点検（電気管理協会）
12	水	新任職員研修、内科診察、新人教育委員会
13	木	新任職員研修、お花見（ちゅら班）、職員健康診断、研修委員会 第1回計画相談支援、障がい児相談支援に関する相談支援ミーティング（長友、川野）
14	金	新任職員研修
15	土	イースター礼拝・召天者記念会、家族会、職員会、一粒の麦 305号発行、防災委員会
16	日	舞踊クラブ
17	月	新任職員研修、全体会
18	火	新任職員研修、防災委員会、害虫駆除（ダスキン）
19	水	新任職員研修、クラブ活動、リーダーシップ研修会（黒木氏 最終） 盲重複障害者施設協議会全国大会実行委員会、 計画相談ミーティング（長友・川野）
20	木	新任職員研修、職員健康診断、コピー機保守点検（東洋事務機）、マニュアル委員会
21	金	新任職員研修、第1回経営委員会、歯科往診
22	土	土曜学校（海老原牧師）
23	日	
24	月	全体会、新任職員研修、自動ドア保守点検（オリエント産業）
25	火	防災訓練、精神科診察、人事評価研修（本嶋社労士） 新任職員研修、 第1回宮崎県知的障害者施設協議会理事会・総会（廣瀬）
26	水	新任職員研修、安全衛生委員会、聖書を学ぶ会（荒平牧師）、安全衛生委員会 次年度採用について学校訪問（宮崎医療管理専門学校 廣瀬・宇都宮）
27	木	次年度採用について学校訪問（宮崎保健福祉専門学校・宮崎学園短大 廣瀬・宇都宮） 新任職員研修、要配慮者利用施設の管理者に対する緊急説明会（林、坂元、陶山） ふれあい調理実習
28	金	新任職員研修、次年度採用について学校訪問（九州保健福祉大学 廣瀬・宇都宮）
29	土	昭和の日、土曜学校（浅野牧師）
30	日	

平成 29 年度 日誌 5 月

日	曜	内 容
1	月	全体会、新任職員研修、ふれあい便り 130 号発行 合併処理施設点検及び浄化槽清掃（産商）
2	火	全体会、家族会ボランティア（3 名）浄化槽点検（産商）、研修委員会
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日、ゴールデンウィークプログラム（井上ファミリーバンド）
5	金	こどもの日、ゴールデンウィークプログラム（カラオケ大会）
6	土	土曜学校（金牧師）
7	日	宮崎県障がい者スポーツ大会（ボーリング 3 名参加）
8	月	平成 29 年度宮崎県社会福祉法人経営者協議会総会・社会福祉法人セミナー I（理事長・坂元）
9	火	生活支援委員会、宮崎北聖書キリスト教会サフラン会ボランティア、栄養管理委員会 宮崎県知的障害者施設協議会スタッフ部会・九州地区地域交流会委員会（後藤）
10	水	クラブ活動、内科診察、ケア会議、平成 29 年度国富町ボランティア連絡協議会総会・研 修会（坂元）、ふれあい選択外出（他 17 日、19 日、23 日）、新人教育委員会、
11	木	経営委員会、麦わらぼうし職員会
12	金	人事評価研修（本嶋評議員）、歯科往診、福祉の出前講座（八代中 園田） 電気設備点検（電気管理協会）
13	土	土曜学校（印牧師）
14	日	生け花クラブ、カウンセリング基礎講習（延岡市 渡部） 宮崎県障害者スポーツ大会（陸上競技 3 名参加）
15	月	有機性汚泥収集処理（環境未来恒産）
16	火	全体会、定例運営委員会、プロパンガス設備点検（マルキプロパン）、 害虫駆除（ダスキン）、 合併浄化槽点検（産商）、環境整備（委託）、栄養管理委員会
17	水	盲重複障害者施設協議会全国大会実行委員会、クラブ活動、ケア会議 防災訓練（非常食調理、試食）、計画相談ミーティングと勉強会（長友・川野）
18	木	感染性胃腸炎の疑い 2 名（生活区域制限開始～28） 指定障害福祉サービス事業者等に対する 説明会及び障害者総合支援法に基づく集団指導（林、町田、塩満、寺田、長友、日高武） 害虫駆除（ダスキン）
19	金	法人業務監査（黒木監事） 新任職員研修（小野、甲斐遥香、中島、日高恵子）
20	土	各課職員会、ふれあい職員会、家族会中止（感染性胃腸炎の疑い）、防災委員会
21	日	舞踊クラブ
22	月	合併処理施設点検（産商）
23	火	法人会計監査（日高監事）経営委員会、屋外環境整備（～25） 防火管理者新規講習（町田）、計画相談ファシリテーター養成勉強会（長友）
24	水	法人会計監査（日高監事）、チーフ会 平成 28 年度わくわく市反省会、平成 29 年度わくわく市出席者会議
25	木	九州地区知的障害者福祉協会地域支援部会（諫早市 廣瀬）
26	金	法人監査（黒木監事、日高監事）
27	土	福祉の出前講座（新富中～山崎）
28	日	土曜学校（原田牧師）
29	月	屋外環境整備（～30）、生活区域制限解除
30	火	空調切り替え（共立冷熱）
31	水	スポーツレクリエーション（第 40 回）

平成 29 年度 日誌 6 月

日	曜	内 容
1	木	ふれあい便り (131 号) 発行、防火管理の基礎研修 (緒方啓士) 知的障がい者の高齢期支援を考える研修会 (熊本市 谷口～2)
2	金	合併浄化槽施設点検 (産商)
3	土	土曜学校 (廣瀬)
4	日	舞踊クラブ、カウンセリング基礎講習 (延岡市 渡部)
5	月	
6	火	全国盲重複障害者福祉施設研究協議会研修委員会、東京光の家あいさつ (日高) 計画相談ファシリテーター勉強会 (長友) 栄養管理委員会
7	水	全国盲重複障害者福祉施設研究協議会運営委員会・施設長セミナー (廣瀬、日高武敏～6/8) GH 職員会、新人教育委員会
8	木	第 2 回法人理事会
9	金	電気設備点検 (電気管理協会)
10	土	土曜学校 (印牧師)、福祉職場説明会 (宮崎医療管理専門学校 園田、日高武、岡本)
11	日	生け花クラブ
12	月	エレベーター定期点検 (フジテック)
13	火	浄化槽清掃 (産商)、定例運営委員会、研修委員会
14	水	マシュマロ班体験デイ (3 名 日向サンパーク)
15	木	大学等就職説明会 (林、後藤、宇都宮)、チーフ会、クラブ活動 わくわく市 (イオンモール宮崎～18)
16	金	ちゅら班 4 名体験デイ (お船出の湯・ゲシュマック) 大学等就職説明会 (宇都宮、林、後藤)
17	土	土曜学校 (海老原牧師)、家族会 (総会)、GH 家族会、職員会、 はびねすの窓、防災委員会
18	日	舞踊クラブ
19	月	振替休日 (生活介護)、エレベーター部品交換
20	火	全体会
21	水	グループホーム世話人会、第 2 回計画相談ミーティング、事例発表 (長友・川野) 職員交流レクリエーションスタッフ会議・監督会、 放課後等デイサービス連絡協議会 (市民プラザ 寺田)
22	木	ちゅら班体験デイ 6 名 (イオンモール宮崎)、安全衛生委員会
23	金	宮崎学園短期大学施設見学実習 (2 名)、歯科往診
24	土	土曜学校 (原田牧師)、平成 29 年度第 2 回法人評議員会、第 3 回理事会
25	日	
26	月	害虫駆除 (ダスキン)、ファシリテーション研修 (山本)
27	火	九州地区地域生活者交流会スタッフ会議、 ちゅら班体験デイ (5 名 イオンモール宮崎)
28	水	グループホーム世話人会 (夜勤専門員)、聖書の学び、 握りずしバイキング (ヘルシー寿司)
29	木	経口補水療法摂食・嚥下障害の基礎の基礎知識 (田中外科医院 東屋) フローラ班体験デイ (2 名 高鍋めいりんの湯)
30	金	

平成 29 年度 日誌 7 月

日	曜	内 容
1	土	土曜学校 (金牧師)、グループホーム見学会
2	日	カウンセリング基礎講習 (延岡市 渡部)
3	月	全体会、ボランティア (家族、黒岩健吾)
4	火	栄養管理委員会、生活支援委員会、相談支援ファシリテーター研修 (長友) 社会福祉会計簿記「入門講座」(窪田、濱田) 全国知的障害者福祉施設施設長会 (日高武敏～5)
5	水	ケア会議、クラブ活動
6	木	みどり園施設見学来園 (5 名)、社会福祉会計入門講座 (窪田、濱田)
7	金	経営委員会、虐待防止委員会、コーチング研修 (山本)
8	土	土曜学校 (印牧師)、就職説明会 (九州保健福祉大学 宇都宮、甲斐)
9	日	活け花クラブ
10	月	全体会、家族会有志ボランティア、リーダー先進施設視察研修 (熊本県社会福祉法人菊愛会) (廣瀬、宇都宮、林、坂元、後藤、緒方、長友、山本、川辺～11) 宮崎県知的障害者施設協議会新任職員研修 (小野、甲斐、中嶋、日高恵子、四位～11)
11	火	フローラ班花の街体験デイ (婦人服衣料品店他 3 名)、ボランティア (花植え 3 名)、
12	水	内科診察、労務管理研修 (櫻木)、喀痰吸引研修 (谷口) 宮崎学園短大実習生受け入れ説明会 (日高)、聖書の学び
13	木	盲重複障害者施設協議会職員研修 (彦根学園 園田～14) 地域福祉コーディネーター養成研修 (川辺)
14	金	平成 29 年度第 3 回評議員会、フローラ班体験デイ (イオンモール宮崎 3 名) 九州地区地域生活者交流会 (グループホーム利用者、職員)
15	土	土曜学校 (海老原牧師)
16	日	
17	月	海の日、宮本トキ元園長召天
18	火	全体会、運営委員会
19	水	チーフ会、クラブ活動、労務管理セミナー (宇都宮) 喀痰吸引研修 (谷口)
20	木	ちゅら班体験デイ (5 名 木城温泉ゆらら) 九州地区知的障害者施設等職員研修大会 (福岡 林、日高武敏、四位～21) 外壁洗浄塗装等入札現地説明会 (3 社)、浄化槽調整槽設置工事開始 国富町地域福祉コーディネーター連絡会 (坂元) よってみてんボランティアまつり実行委員会 (川辺)
21	金	
22	土	土曜学校 (原田牧師)、家族会、職員会、
23	日	宮崎学園短期大学施設見学実習 (2 名)、歯科往診
24	月	フローラ班花の街体験デイ (3 名 宮交シティー)
25	火	ちゅら班体験デイ (5 名 イオンモール宮崎)、精神科診察、害虫駆除 (ダスキン) 合併処理施設点検 (産商)
26	水	行事食 (手打ちそば)、出張髪カット、労務管理研修 (宇都宮)
27	木	待遇改善による経営戦略セミナー (宮崎市民文化ホール 櫻木) ホームみらい夜間防災訓練 (谷口)
28	金	外壁洗浄塗装等入札 (3 社)、安全衛生委員会 障害者支援施設部会・日中活動支援部会合同施設長会 (廣瀬)
29	土	土曜学校 (印牧師)
30	日	宮崎県知的障害者施設協議会職員交流レクリエーション (18 名)
31	月	全体会、家族会ボランティア、地域福祉コーディネーター養成研修 (川辺)

平成 29 年度 日誌 8 月

日	曜	内 容
1	火	合併処理施設点検（産商）相談支援ファシリテーター研修（長友） フローラ班体験デイ（アグリーナ他 3名）
2	水	クラブ活動、ケア会議 宮崎県社会福祉法人経営協セミナー（理事長、陶山、林、坂元） 労務管理セミナー（宇都宮）
3	木	環境整備、OJT スキル基礎研修（高山）
4	金	経営委員会、歯科往診、労務管理研修（宇都宮）
5	土	土曜学校とボランティア（金牧師、セビツ田園教会） 排泄ケア初級セミナー（皇寿園 山本、日高薫～6）
6	日	
7	月	
8	火	運営委員会、つよし寮施設見学
9	水	内科診察、九州地区地域支援部会（鹿児島 廣瀬）、害虫駆除（ダスキン）
10	木	感染症研修（山崎、山中）、成人施設親善球技大会スタッフ部会（後藤）
11	金	山の日
12	土	土曜学校（浅野牧師、坂本久光氏）
13	日	
14	月	宮崎学園短大生実習（～9/12）、
15	火	ちゅら班体験デイ（シェラトンホテル他 5名）
16	水	竹田土地調査立会い（理事長、宇都宮） 計画相談支援、障がい児相談支援に関する相談推進会議及び事例検討会（長友）
17	木	防災訓練（救急救命基礎講習）、第三者評価研修（坂元、林） 九州地区知的障害者福祉協会障害者支援施設部会第 1 回実行委員会（山本） 成人施設親善球技大会交流会及び反省会（後藤）
18	金	歯科往診
19	土	土曜学校（海老原牧師）、家族会、職員会、宮崎県防災士養成研修（蛸原）、 アップル班体験デイ（サンビーチーツ葉）、法律・制度研修（林課長）
20	日	
21	月	喀痰吸引研修（谷口）、全国グループホーム等研修会（福井市 廣瀬、坂元～22） 知的障害者の高齢期支援等を考える研修会（宇都宮）福祉コーディネーター研修（川辺）
22	火	精神科診察、就職面接相談会（宇都宮、林、後藤） 社会福祉経営セミナー会計財務研修（濱田）
23	水	社会福祉経営セミナー会計財務管理研修（シーガイア 櫻木・濱田） 聖書の学び（荒平牧師）、合併処理施設点検（産商）
24	木	ちゅら班体験デイ（5名 イオンモール宮崎）、安全衛生委員会 宮崎県知的障害者施設協議会地域支援部会研修準備会、消防設備点検
25	金	フローラ班体験デイ（3名 高鍋めいりんの湯） 国富町社会福祉法人等連絡会（町社会福祉協議会 宇都宮）
26	土	土曜学校とボランティア（金牧師、ソウル花園教会伝道チーム）
27	日	きれいなまちづくりボランティアのつどい（福島光夫）
28	月	全体会、感染症対策・食中毒予防衛生管理研修（宮崎市総合保健センター 池水） 有機性汚泥収集処理（環境未来恒産）
29	火	ターミナル基礎研修（後藤、谷口）浄化槽点検（産商）
30	水	宮崎学園短大生実習（～9/12）、メンタルヘルス研修（福島光夫）
31	木	地域福祉コーディネーター研修（川辺）、NS レシピ試食会（池水）

平成 29 年度 日誌 9 月

日	曜	内 容
1	金	辞令交付 フローラ班体験デイ (4 名 みやざき臨海公園他)、 社会福祉法人理事研修 (宮崎観光ホテル 林)、合併処理施設点検 (産商)
2	土	土曜学校(原田牧師)、排泄ケア初級セミナー (山本、日高薫)
3	日	カウンセリング基礎研修 (渡部)
4	月	全体会、電話機点検修理、平成 29 年度社会保険制度講習会 (櫻木)
5	火	相談支援ファシリテーター研修 (長友、東郷)
6	水	ミニコンサート (河野眞一氏)、ケア会議、クラブ活動
7	木	ふれあい指導監査
8	金	第 4 回理事会
9	土	土曜学校 (印牧師)、平成 30 年度新任職員入社試験 (2 名) 医療安全研修会 (県看護等研修センター 大平)
10	日	
11	月	全体会、うからの里生活支援員交換研修 (~14 長嶺) エデンの園家族会グループホーム見学、電気設備点検 (電気管理協会)
12	火	ちゅら班体験デイ (5 名 小林ブドウ狩)、実習生反省会 特別養護老人ホームほほえみの園視察研修 (坂元、後藤、塩満) 喀痰吸引研修 (谷口) 社会福祉法人財務管理研修 (櫻木、濱田)、相談支援スキルアップ研修 (長友、東郷) 職場におけるハラスメント防止対策説明会 (日高)、職業能力開発推進者講習 (林)
13	水	電話機新設入れ替え (山田電設)、地域福祉コーディネーター研修 (川辺)
14	木	課長会、運営委員会、OJT スキル実践研修 (光森)
15	金	成人施設球技大会 (県総合運動公園)、歯科往診 (宮崎歯科福祉センター) 浄化槽汲み取り清掃 (産商)
16	土	家族会、職員会 (家族・職員合同研修会「成年後見制度」について 安藤実和子氏)
17	日	
18	月	メンタルヘルス研修 (酒井春江氏)
19	火	合併処理施設点検 (産商)
20	水	喀痰吸引研修 (谷口)
21	木	防災訓練、防災士研修 (生目の杜 蛸原)、エレベーター点検 盲重複障害者施設協議会全国大会会場下見と最終打合せ (実行委員会)、 厨房自洗機・大型冷蔵庫納入
22	金	宮崎県知的障害者施設協議会地域支援部会研修準備会 (廣瀬)
23	土	強度行動障害支援者養成研修 (~23 渡部、蛸原、日高薫、長嶺、長田、川辺)
24	日	宮崎市障がい者スポーツ大会 (生目の杜運動公園)
25	月	平成 29 年度第 2 回評議員会、環境整備 (~28)
26	火	精神科診察、先進施設見学 (鹿児島 社会福祉法人敬天会 林、坂元、徳原) 害虫駆除 (ダスキ)、事業場内メンタルヘルス推進者養成研修 (櫻木~27)
27	水	全国知的障害者福祉関係施設職員大会 (名古屋市 緒方市郎)、離職防止環境整備セミナー (宇都宮)、 宮崎県知的障害者施設協議会相談支援部会研修会 (長友、東郷)
28	木	フローラ班体験デイ (3 名 石崎の杜他)、ワックスがけ (~29) 安全衛生委員会
29	金	地域福祉コーディネーター研修 (川辺) 職業能力開発推進者研修 (林)
30	土	土曜学校 (浅野牧師、坂本久光氏)

平成 29 年度 日誌 10 月

日	曜	内 容
1	日	
2	月	辞令交付、草刈等環境整備（～2）、合併処理施設点検（産商）
3	火	全体会
4	水	全国盲重複障害施設研究協議会全国大会 宮崎大会（施設長会）
5	木	全国盲重複障害施設研究協議会全国大会 宮崎大会（～6 職員 14 名）
6	金	交流レクリエーション打合せ（後藤 当園） みなみの風特別支援学校見学（川添） リハビリテーション加算内容について研修・施設見学（はまゆう園 緒方、四位）
7	土	土曜学校（金牧師）
8	日	
9	月	体育の日
10	火	全体会、家族会・職員連携委員会
11	水	クラブ活動、人事考課者研修会、内科診察、貯水槽清掃（コウセイ） サービス管理責任者養成研修ファシリテーター事前打合せ（林） 応急手当普及員研修（宮崎東諸県広域防災センター 四位～13）
12	木	歯科往診（宮崎歯科福祉センター）
13	金	喀痰吸引研修（谷口）、電気設備点検（電気管理協会） 平成 29 年度地域生活定着支援セミナー（長友）
14	土	土曜学校（印牧師）
15	日	
16	月	フローラ班体験学習（3 名 イオンモール宮崎） 合併処理施設点検（産商） うからの里との交換研修（光森～20）、自動ドア点検
17	火	ちゅら班体験デイ（5 名 日向サンパーク）、運営委員会 虐待防止・権利擁護研修（谷口、庵崎、兒玉）、害虫駆除（ダスキン）
18	水	クラブ活動、チーフ会
19	木	フローラ班体験学習（3 名 しまむら他）クラブ活動、多感覚セッション、 障がい者差別相談窓口研修（鳥原）
20	金	歯科往診（宮崎歯科福祉センター）
21	土	エデンの園まつり、家族会、土曜学校（海老原牧師）、一粒の麦 307 号発行
22	日	衆議院議員選挙（12 名投票）
23	月	フローラ班体験学習（3 名 木城温泉ゆらら）、キャリアパス対応生涯研修（光森）
24	火	ゴスペルコンサート（韓国 李牧師夫妻）、喀痰吸引研修（谷口） 平成 29 年度第 2 回包括連携会議（長友、寺田、坂元）
25	水	平成 29 年度九州地区障がい者支援施設研修実行委員会
26	木	ちゅら班体験デイ（科学技術館 5 名）、職員会、 平成 29 年度法人後見支援員養成研修（廣瀬）
27	金	施設見学（やまびこの里 9 名）、排水管洗浄・汚物処理（環境未来恒産）
28	土	土曜学校（五島千恵子支援員）国富町ふれあいレクリエーション 排水管洗浄及び有機性汚泥収集処理（環境未来恒産）
29	日	
30	月	全体会
31	火	環境整備、平成 29 年度相談支援従事者初任者ファシリテーター研修（長友～11/1）

平成 29 年度 日誌 11 月

日	曜	内 容
1	水	クラブ活動、ケア会議 環境整備、合併処理施設点検 (産商) 宮崎市総合発達支援センター実地研修 (川添)
2	木	新任職員研修
3	金	文化の日
4	土	土曜学校 (荒平牧師)
5	日	カウンセリング基礎研修 (渡部)
6	月	放課後等デイサービス県監査、新任職員研修、家族会有志ボランティア (一粒の麦発送)
7	火	入所者希望調査 (西都病院)、サービス管理責任者ファシリテータ事前研修 (林 愛生園) 生活支援委員会
8	水	内科診察、出張髪カット、宮崎女性活躍推進会議研修 (宮日会館 陶山、廣瀬)
9	木	歯科往診 (宮崎歯科福祉センター)、施設見学 (みどり園より 5 名) 電気設備点検 (電気管理協会) 害虫駆除 (ダスキン)、染作業打ち合わせ (徳原)
10	金	フローラ体験デイ (3 名 お好み焼き道頓堀)、経営委員会、人事評価研修会
11	土	土曜学校 (印牧師)、ふれあいスポーツレクリエーション (廣瀬)
12	日	活け花クラブ
13	月	全体会
14	火	精神科診察、運営委員会、発達障害研修 (保利、日高陵 宮崎観光ホテル)
15	水	チーフ会 (業務改善委員会)、クラブ活動、おむつの当て方研修、相談支援勉強会 (長友) リスクマネジメント研修 (事故発生・クレーム対応) (塩満)
16	木	喀痰吸引研修 (谷口)、東諸地区地域福祉コーディネーター連絡会 (坂元、川辺)
17	金	県中央地区合同レクリエーション (竹田河川敷公園グランド 10 名参加) 職員交流レクリエーション反省会 (後藤)
18	土	土曜学校 (金牧師)、家族会、職員会、 コンチネンス初級セミナーフォローアップ (後藤、日高薫、山本) 強度行動障害支援者養成研修 (園田、日高陵、川辺～19)
19	日	
20	月	陶芸教室 (三名保育園) 宮崎市総合発達支援センター見学 (四位、田代) 労務管理研修会 (陶山)
21	火	全体会、ちゅら班 5 名体験デイ (石崎浜荘他)、合併処理施設点検 (産商) 宮崎市総合発達支援センター実地研修 (川添)
22	水	行事食「秋の味覚」、国富町社会福祉法人連絡会 (坂元)
23	木	
24	金	フローラ班体験デイ (3 名 木城温泉ゆらら) 高次脳機能障害ファシリテータ研修 (四位) 喀痰吸引研修 (山中)、経営協会実務講座 (櫻木～26 ロフォス湘南) つよし学園家族会施設見学 (18 名)
25	土	土曜学校 (原田牧師)、平成 30 年度正職員登用試験 (7 名)
26	日	
27	月	全体会、福祉サービス苦情解決セミナー (クレーム対応研修 日高、町田、寺田)
28	火	
29	水	第 5 回法人理事会、階段剥離清掃ワックスがけ (~30 グローバルクリーン) 九州地区知的障害者福祉協会障害者支援部会研修会実行委員会 (山本)
30	木	ちゅら班体験デイ (宮崎観光ホテルでランチ 5 名) 九州地区知的障害者福祉協会障害者支援部会研修会 (宮観ホテル～12/1 廣瀬、蛸原、緒方敬、海野) みなみの風支援学校、日向ひまわり支援学校より見学

平成 29 年度 日誌 12 月

日	曜	内 容
1	金	ちゅら班体験デイ (5 名 宮崎観光ホテル) 貴島義友さん入所、口腔ケア (宮崎福祉歯科センター) 放課後等デイサービスオレンジ見学 (四位、田代、寺田)、合併処理施設点検 (産商)
2	土	土曜学校 (金牧師)
3	日	カウンセリング基礎研修 (延岡 渡部)
4	月	全体会
5	火	研修委員会、相談支援ファシリテーター研修 (長友)
6	水	クリスマス観劇 (劇団四季「嵐の中の子どもたち」7 名 清武文化会館) 喀痰吸引研修 (谷口) 平成 29 年度障害者虐待防止・権利擁護研修 (庵崎、高山、兒玉、川添)
7	木	ちゅら班体験デイ (イオン宮崎店他 5 名)、 九州地区障がい者相談事業合同研修会 (鹿児島 長友) 九州地区知的障害者福祉協会地域福祉部会、施設見学 (沖縄～9 廣瀬)
8	金	
9	土	
10	日	舞踊クラブ
11	月	喀痰吸引研修 (筆記試験 谷口)、電解水生成装置デモ機設置、 電気設備点検 (電気管理協会)、浄化槽清掃 (産商)
12	火	宮崎県知的障害者施設協議会県内世話人等研修会 (廣瀬、町田、福島、山手、森崎、日高) 壁洗浄・コーキング・塗装検査 (松尾建設施工分)
13	水	クラブ活動、内科診察、チーフ会、髪カット、 東諸県ケアマネージャー連絡会 (宇都宮) 学校法人宮崎学園経営計画に関する外部評価 (廣瀬)
14	木	洗濯室配電盤工事、害虫駆除 (ダスキン)
15	金	
16	土	土曜学校 (海老原牧師)、ふれあいクリスマス会
17	日	
18	月	発達障害者雇用セミナー (宇都宮、徳原) 床ワックス掛け (~19)
19	火	ちゅら班体験デイ (石崎の杜鯨鯨館 4 名)、防災訓練 (AED 使用について)、 運営委員会
20	水	簡易専用水道検査 (宮崎県公衆衛生センター)、髪カット
21	木	年末調整説明会 (櫻木)
22	金	クリスマス会 (ミケとその仲間たち、三名保育園)、喀痰吸引研修 (山中)
23	土	天皇誕生日、土曜学校 (原田牧師)、玄関・EV ホールワックスがけ
24	日	
25	月	全体会、経営委員会、2 階ワックスがけ
26	火	精神科診察、喀痰吸引研修 (山中)
27	水	
28	木	家族会、バラの会、職員会、合併処理施設点検 (産商)
29	金	
30	土	
31	日	

平成 29 年度 日誌 1 月

日	曜	内 容
1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	辞令交付、全体会、国富町賀詞交換会（廣瀬、陶山、林、坂元）、合併処理施設点検（産商）
5	金	歯科往診
6	土	土曜学校（廣瀬）、
7	日	活け花クラブ、カウンセリング基礎講座研修（延岡市 渡部）
8	月	成人の日、国富町成人式にて高山こずえさん独唱
9	火	経営委員会、サービス管理責任者研修（岡本、徳原、蛭原、渡部、森崎）～10、給食委員会、生活支援委員会、髪カット
10	水	クラブ活動、ケア会議、平成 30 年度新任職員入職説明会 施設体験実習（日向ひまわり支援学校）～1 2
11	木	全体会、社会福祉法人経営協セミナー（理事長、陶山、坂元、林、甲斐） 市民後見支援員養成研修 4 名実習
12	金	喀痰吸引研修（山中）、クリーン事業視察研修（徳原、山崎、上原 坂元、林 延岡市役所） 農福連携マルシェ反省会
13	土	土曜学校（印牧師）
14	日	生け花クラブ、カウンセリング研修（渡部）
15	月	多目的ホール電源設営工事、課長会
16	火	運営委員会、害虫駆除（ダスキニひむか）、宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会研修（長友）
17	水	クラブ活動、チーフ会、内科診察、マネジメントスキル基礎研修（渡部） 国富町自立支援協議会（廣瀬）、相談支援推進会議・事例検討会（長友）
18	木	ちゅら班体験デイ（石崎の杜鯨鯨館 4 名）、発達障がい研修（長嶺）、 発達障がいの就労支援（徳原）、働き方改革に関するワークショップ（櫻木）
19	金	歯科往診、障害者支援施設部会研修会反省会（山本）、 クリーン事業研修会（林、徳原、山崎、上原、藤坂）、災害時における備蓄食研修（池水）
20	土	家族会、土曜学校（原田牧師）、職員会、一粒の麦発行（308 号）、バラの会、 強度行動障害支援者養成研修（光森、蛭原、園田、庵崎、高山、川辺、日高陵～21）
21	日	
22	月	フローラ班体験デイ（みやざきアートセンター他 4 名）
23	火	精神科診察、地域の歯科保健課題解決に向けた研修会（高山、日高信二郎）
24	水	鍋会食（すき焼き）、喀痰吸引研修（山中） 宮崎県グループホーム等職員研修（廣瀬、林、町田～25）、自動ドア点検
25	木	ちゅら班体験デイ（木城温泉ゆらら 5 名）、インターネット回線工事 介助に生かすリハビリテーション研修（日高薫）、地域福祉コーディネーター連絡会（坂元、川辺）、働き方改革に関するワークショップ（櫻木）
26	金	安全衛生委員会、クリーン事業視察研修（はまゆう園 徳原、藤坂） 施設実習担当者打ち合わせ（宮崎医療専門学校 日高）
27	土	土曜学校（荒平牧師）
28	日	生け花クラブ）
29	月	全体会、ボラティア（家族会 一粒の麦の発送）
30	火	フローラ班体験デイ（めいりんの湯 3 名）、課長会
31	水	陶芸教室（本庄西部保育園）、喀痰吸引研修（谷口） 宮崎県知的障害者施設協議会第 2 回理事会、第 2 回総会（廣瀬）

平成 29 年度 日誌 2 月

日	曜	内 容
1	木	課長会
2	金	平成 29 年度第 6 回理事会、 平成 29 年度経営支援セミナーアングーマネジメント研修（福嶋一途、長嶺）
3	土	土曜学校（金牧師）
4	日	カウンセリング基礎研修（延岡 渡部）
5	月	フローラ班体験デイ（やすらぎの里 3 名）、喀痰吸引研修（山中） 平成 29 年度宮崎県民間社会福祉施設等事務職員共済制度事務説明会（櫻木） 平成 29 年度第 3 回地域包括連携会議
6	火	平成 29 年度宮崎県防災士養成研修（蛸原）
7	水	人事評価研修（12 名）、クラブ活動、ベッド畳の入替（～13） みやざき働き方改革ワークショップ（櫻木）、福祉介護の職場定着推進フォーラム（光森） 喀痰吸引実地研修（谷口）、防火管理者研修（～8 日向市 林）
8	木	平成 29 年度九州地区知的障害福祉協会種別部会（佐賀市～9 廣瀬） 管理職のための職場ストレスマネジメント研修（坂元、日高）、害虫駆除 喀痰吸引実地研修（谷口）
9	金	喀痰吸引実地研修（谷口）
10	土	土曜学校（印牧師）、平成 29 年度職場で使える介護技術研修
11	日	建国記念の日、生け花クラブ
12	月	
13	火	全体会、運営委員会、施設実習（宮崎医療管理専門学校 1 名） 発達障害者雇用促進セミナー（徳原、上原、山崎、藤坂）、消防機器点検
14	水	会計財務決算実務研修（陶山、櫻木）、同行援護従事者養成研修（徳原）
15	木	フローラ班花の街体験デイ（ぽっくる農園他 4 名） 国富町自立支援協議会（廣瀬）
16	金	歯科口腔ケア、喀痰吸引実地研修（谷口）
17	土	土曜学校（荒平牧師）、職員会、はびねすの窓（並 タツ）、防災委員会 宮崎県知的障害者施設協議会合同研修会（田代）
18	日	
19	月	全体会、平成 30 年宮崎ふるさと就職説明会事前セミナー（山本、庵崎） 多目的ホール空調機取り付け工事並びに東館空調入替工事（～3/26）
20	火	施設実習（放課後等デイサービスオレンジより 2 名～21）
21	水	内科診察、同行援護従事者養成研修（ケアハウスこんぱす徳原）、 喀痰吸引研修（山中）、聖書の学び（荒平牧師）
22	木	発達障がい者雇用に係る企業勉強会（宇都宮、徳原）社会保険委員会（櫻木）
23	金	パパイヤ班体験デイ、喀痰吸引研修（谷口）
24	土	土曜学校（原田牧師）
25	日	山彦会ボランティア、生け花クラブ
26	月	フローラ班体験デイ、クリーン事業研修（徳原、山崎、上原）、 グリストラップ清掃（環境未来恒産）
27	火	経営協第 2 回総会及び経営セミナー（理事長、宇都宮、坂元）
28	水	全国盲重複障害施設研究協議会役員会（廣瀬～3/1） 同行援護従事者養成研修（ケアハウスこんぱす 徳原、長田）

平成 29 年度 日誌 3 月

日	曜	内 容
1	木	辞令交付（看護師 1 名）
2	金	歯科往診
3	土	土曜学校（金牧師）
4	日	
5	月	家族会との連携委員会（第 3 回）、 同行援護従事者養成研修（ケアハウスこんぱす 岡本、長田）
6	火	
7	水	クラブ活動、生活支援委員会、 クリーン事業研修（山崎、上原、藤坂、徳原）
8	木	フローラ班花の街体験デイ（石崎の杜歓迎鯨館）、食堂温蔵庫入替
9	金	第 7 回法人理事会、フローラ班花の街体験デイ（高岡温泉）
10	土	土曜学校（印牧師）
11	日	
12	月	運営委員会
13	火	喀痰吸引研修（山中） 人事労務管理研修（蛭原）、 新任職員スタートアップ、フォローアップ研修打ち合わせ会（廣瀬）
14	水	全体会、定例運営委員会 福祉の仕事就職説明会（蛭原、長嶺、坂元～宮崎観光ホテル）
15	木	明星視覚支援学校卒業式（施設長） 日向ひまわり支援学校卒業式（林） 宮崎県知的障害者施設協議会障害者支援施設・日中活動支援部会施設長会（廣瀬）
16	金	喀痰吸引研修（山中）
17	土	居室壁等修理工事（～30）、職員会
18	日	
19	月	経営委員会、ケア会議
20	火	
21	水	春分の日
22	木	第 8 回法人理事会、行事食デザートバイキング
23	金	内科診察、
24	土	土曜学校（原田牧師）
25	日	
26	月	
27	火	家族会有志ボランティア、精神科診察、 就職説明会（シーガイアコンベンションホール～ 山本、庵崎、陶山 ）
28	水	行事食、
29	木	ケア会議
30	金	就労継続支援 B 型事業つむぎ竣工式（綾町） 第 5 回評議員会
31	土	土曜学校（浅野牧師）

3. 本 部 事 業

平成 2 9 年 度 理 事 会 状 況

開 催 年 月 日	出 席 者	審 議 事 項
第 1 回 平成 29 年 4 月 4 日	理 事 6 名 監 事 2 名 事 務 局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：基本財産変更による定款変更について 第 2 号議案：定款細則について 第 3 号議案：役員報酬及び費用に関する規程について 第 4 号議案：情報公開規程について 第 5 号議案：社会福祉法人エデンの園の職務分掌規程について 第 6 号議案：業務執行理事の選定について その他報告：平成 29 年 4 月 1 日施行の各種改訂規定、社会福祉充実計画について
第 2 回 平成 29 年 6 月 9 日	理 事 6 名 監 事 2 名 事 務 局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：平成 28 年度事業報告・決算について 第 2 号議案：社会福祉充実計画について 第 3 号議案：経理規程（契約関係）の一部改定について 第 4 号議案：平成 29 年度会計の補正予算について 第 5 号議案：情報公開規程の一部改正について 第 6 号議案：新役員の推薦について その他報告：評議員会の招集について
第 3 回 平成 29 年 6 月 24 日	理 事 6 名 監 事 2 名 事 務 局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：理事長及び業務執行理事の選定について 第 2 号議案：事業用地購入について 第 3 号議案：障害者支援施設エデンの園の外壁工事（業者選定・入札）について 第 4 号議案：障害者支援施設エデンの園浄化槽増設工事について 第 5 号議案：平成 29 年度会計の 2 次補正予算について 第 6 号議案：経理規程の一部改定について その他報告：評議員会の招集について
第 4 回 平成 29 年 9 月 8 日	理 事 6 名 監 事 2 名 事 務 局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：事業用地購入に伴う定款変更について 第 2 号議案：社会福祉充実計画について 第 3 号議案：平成 29 年度 3 次補正予算について 第 4 号議案：就業規則の一部変更について その他報告：評議員会の招集について
第 5 回 平成 29 年 11 月 29 日	理 事 6 名 監 事 1 名 事 務 局 1 名 計 8 名	第 1 号議案：臨時職員、パートタイム労働者就業規則の一部改定について 第 2 号議案：新規事業について 第 3 号議案：平成 29 年度 4 次補正予算について その他報告：事業用地、改修工事に伴う調査について
第 6 回 平成 30 年 2 月 2 日	理 事 6 名 監 事 2 名 事 務 局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：平成 29 年度 5 次補正予算について 第 2 号議案：障害者支援施設（生活介護）の定員変更について その他報告：グループホーム運営規程変更、就労継続支援 B 型事業所開設準備について

開 年 月 日	催 日	出 席 者	審 議 事 項
第 7 回 平成 30 年 3 月 9 日		理 事 6 名 監 事 2 名 事務局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：平成 30 年度本部、障害者支援施設、生活介護、グループホーム、相談支援事業、放課後等デイサービス、就労継続支援、社会貢献事業・地域貢献事業の事業計画（案）について 第 2 号議案：就業規則改訂（案）について 第 3 号議案：パートタイム労働者就業規則改訂（案）について 第 4 号議案：臨時職員就業規則改訂（案）について 第 5 号議案：給与規程改訂（案）について 第 6 号議案：人事について その他報告：次回開催、つむぎ（就労継続支援 B 型）開所式について
第 8 回 平成 30 年 3 月 22 日		理 事 6 名 監 事 2 名 事務局 1 名 計 9 名	第 1 号議案：平成 29 年度会計の 6 次補正予算について 第 2 号議案：経理規程改訂について 第 3 号議案：平成 30 年度当初予算について 第 4 号議案：役員報酬改定について その他報告：次回開催、社会福祉充実計画進捗状況報告

平成 29 年度評議員会状況

開 年 月 日	催 日	出 席 者	決 議 事 項
第 1 回 平成 29 年 4 月 4 日		評議員 6 名 監 事 2 名 理 事 3 名 事務局 1 名 計 12 名	第 1 号議案：基本財産変更による定款変更について 第 2 号議案：定款細則について 第 3 号議案：役員報酬及び費用に関する規程について 第 4 号議案：情報公開規程について その他報告：平成 29 年 4 月 1 日施行の各種規程、社会福祉充実計画について
第 2 回 平成 29 年 6 月 24 日		評議員 7 名 監 事 1 名 理 事 5 名 事務局 1 名 計 14 名	第 1 号議案：平成 28 年度事業報告・決算について 第 2 号議案：社会福祉充実計画について 第 3 号議案：平成 29 年度会計の補正予算について 第 4 号議案：新役員の選任について その他報告：今後の予定について
第 3 回 平成 29 年 7 月 14 日		評議員 7 名 監 事 2 名 理 事 3 名 事務局 1 名 計 13 名	第 1 号議案：事業用地購入について 第 2 号議案：平成 29 年度 2 次補正予算について 第 3 号議案：障害者支援施設外壁工事に伴う（業者選定・入札）について その他報告：次回開催について

開 催 年 月 日	出 席 者	審 議 事 項
第 4 回 平成 29 年 9 月 25 日	評議員 8 名 監 事 2 名 理 事 3 名 事務局 1 名 計 14 名	第 1 号議案：事業用地購入に伴う定款変更について 第 2 号議案：社会福祉充実計画の変更について 第 3 号議案：平成 29 年度 3 次補正予算について その他報告：次回開催について
第 5 回 平成 30 年 3 月 30 日	評議員 8 名 監 事 2 名 理 事 3 名 事務局 1 名 計 14 名	第 1 号議案：平成 30 年度事業計画について 第 2 号議案：平成 30 年度当初予算について 第 3 号議案：役員報酬改定について 第 4 号議案：継続雇用について その他報告：グループホーム建設予定について

平成 29 年度社会福祉充実計画実施状況

事 業 名	事業内容	結 果
施設整備事業	1 障害者支援施設エデンの園の浄化槽増設 2 障害者支援施設エデンの園建物外壁の洗浄・塗装 3 障害者支援施設エデンの園一部屋根の修理 4 障害者支援施設エデンの園室内壁塗装改修工事 5 障害者支援施設エデンの園多目的ホール空調整備（新設） 6 障害者支援施設エデンの園空調機器一部更新	終了
車両整備事業	1 障害者支援施設エデンの園車いす対応車購入	終了

平成 29 年度寄附金

区 分	合 計 額
法 人	1,228,468 円
施 設	100,000 円
ふれあい	10,000 円
合 計	1,338,468 円

その他

区 分	寄贈
法人	国富町大字竹田字今宮 264 の畑（休耕地）305 m ²

4. 生活支援課（障がい者支援施設エデンの園）

4-1. サービス実績

生活支援課長 林 裕一

生活介護（定員65名）

月別利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
延べ人数	1392	1415	1384	1455	1438	1379	1427	1351	1438	1438	1291	1459
1日平均	63.27	61.52	62.91	63.26	62.52	62.68	62.04	61.41	62.52	62.52	64.55	63.43

施設入所支援（定員60名）

月別利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延べ人数	1753	1801	1763	1817	1783	1726	1768	1698	1763	1757	1666	1851
1日平均	58.43	58.10	58.77	58.61	57.52	57.53	57.03	56.60	56.87	56.68	59.50	59.71

4-2. 平成29年度重点目標

(1) 権利擁護の推進

<実績>

施設内における権利擁護研修（※1）を毎月実施した。又、権利擁護に関する外部研修にも積極的に派遣した。外部研修に参加した職員が、学びや気づきを施設内研修にて伝達した。平成29年度も研修を進めてきたが、身体的虐待の疑いで2件の通報を行った。

※1 <<平成29年度権利擁護研修>>

月	内 容	担当者
4	ノーマライゼーション（ノーマライゼーションの詩）	施設長
5	日々の支援で気になる事（ロールプレイング）	支援課長
6	ノーマライゼーション（1日のノーマルな生活リズム）	支援課長
7	多飲水利用者の支援を考える	支援員
8	知的障害者の高齢期を考える	チーフ
9	虐待防止チェックリスト	支援課長
10	虐待防止チェックリスト	支援課長
11	感染症予防について考える	医務主任
12	権利擁護・虐待防止研修報告会	支援員
1	虐待防止チェックリストの内容を考える（説明）	支援課長
2	盲重複障害者福祉施設研究大会事例発表より	支援課長
3	自閉症と盲重複障がいを併せ持つNさんの5年間	支援員

(2) 障害の多様性や高齢化支援の学び

<実績>

強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）に延べ4人。喀痰吸引等研修に2名を派遣した。又、法人理事による介護技術等について実地コンサルテーションを月2回実施した。高齢者施設での実習は実施できていない。

(3) 特性、特技を見極め、日中活動の充実

<実績>

平成30年度、新たな日中活動事業所開設に向け準備を進めた。利用者においては、日中サービスの充実に向け、聞き取りやストレングスに着目し、持っている力を再構築する。新たな可能性を見出す年度とした。しかし、日中活動を通して、新たな可能性などを見出すことはできなかった。30年度の事業所併用の利用者選定は、今までの特性、能力を基に相談支援専門員と協議しながら選定した。30年度以降、複数の事業所併用の利用者は、日中活動の充実は図れるが、エデンの園生活介護利用者の日中活動の充実が課題としてあげられる。

(4) 働きやすい（働きがいのある）職場環境

<実績>

人事評価規定、キャリアパス規定を職員に周知するとともに、人事評価の面談において、キャリア形成についてのアドバイスを行い、勤労意欲に繋がるように努めた。又、人事評価・キャリアパス規定に則り、自身が評価されたことで意欲につながった職員も見られた。自己都合により年度途中の退職が1名あったが、長期の休業者はなかった。

4-3. 平成29年度 活動総括

生活支援主任 後藤千恵

平成29年度の生活介護事業の活動グループの編成は、介護、リハビリテーションなどを中心とした「フローラ班」、チャレンジ・経験をキーワードとした「ちゅら班」の2グループ体制で実施した。支援員が利用者ひとり一人をしっかりと知り、支援を行っていくことを目指し、サービス等利用計画の支援の方針、個別支援計画の支援内容を把握することから始めた。

【フローラ班】

●花の街（高齢者支援）

2月に完成した高齢者棟にて、介護支援の充実を目的とし、生活全般におけるQOLの向上を目指した。ハード面においては、介護用ベッド、特殊浴槽などを導入し、直面している利用者の高齢化に対して、職員のスキル向上を図りながら、手探りではあったが、それぞれの生活時間に合わせた支援の構築を図った。またソフト面に関しては、高齢者分野に精通した講師（当園理事 甲斐さち子氏）にコンサルテーションとして、ゼロから介護技術とサービスへの理解についてアドバイザーとして入っていただいた。

●風の街

これまでのマシュマロ（療育）班の利用者を中心とし、障がい特性に合わせた個別ケアを基本に健康、口腔ケア、リハビリテーションを中心に行った。リハビリテーションにおいては、理学療法士が生活リハビリとして、日常で出来る体操や残存機能へのアプローチを行った。口腔ケアでは、健康管理において重要な支援として位置づけ、定期的なケアを実施した。歯科福祉センターでの歯科往診では以前に比べ状態は改善しているとの言葉を頂いている。

【ちゅら班】

一人ひとりの可能性を求めて、経験、チャレンジをキーワードとしたメンバー編成とした。当初は固定した活動にせず、①作業、②運動、③レクリエーションの三本柱を中心に、月間計画を組み立て、職員のアイデアを募り、自由な発想で活動の充実を図ろうとした。しかし、グループ内利用者の障がい特性が多様であった事、利用者の所属人数が多い（42名）、職員のスキル不足など様々な要因が重なり、班全体での活動は困難と判断し、下半期に3班（オリオン・ハイビスカス・シーサー）に細分化した。自閉症支援に特化したオリオンは、前年度よりグループ人数を増やし、習慣化したプログラム提供を行った。シーサーは視覚障害の方もメンバーとし、陶芸活動を中心に、ハイビスカスは園芸を主としてそれぞれ活動を行った。しかし、結果的に継続した活動支援は行えなかった。

【まとめ】

新しい試みでスタートした活動体制であった。「フローラ班」は十分とは言えないものの、個々に応じた活動を提供できた。しかし、「ちゅら班」においては、活動を実施すること自体困難であった。それについては、計画時の班編成と職員配置が、活動を提供できる体制でなかったことが大きな要因であると考えられる。

次年度は、活動種目に拘らず、エデンの園重点目標にもある「衣・食・住」と「健康」に重点を置き、月ごとの活動プログラム（職員配置）を作成し、出来る支援に取り組んでいきたい。

4-4. 平成29年度 事業報告書

フローラ班 花の街

期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

方針 (目的)	一人ひとりの障害の特性・個性または、加齢による心身の変化を理解し、潤いと意欲を持ってその人らしい活力のある生活を営める環境を構築します。また、状態の変化に気付けるよう日々の観察を小まめに行い健康の維持を図ると共に心身の廃用症候群を防止するために残存機能を活かす支援を行います。	
支援方針	支援の実施	評価
	(実施)・一部実施・未実施	(A)・B・C
個人と環境の間に生じる不均衡からもたらされる問題を確認しその問題を解決もしくは緩和できるように援助していきます。	状況 3月より整備された花の街での活動、生活で居住区と活動場所が一緒になることで利用者一人一人に何らかの影響が出るのではと心配する部分もありましたが、静かな雰囲気の中で過ごす事により、安心感が得られたのか意欲的に歩こうとする方や、言葉を発する事が少なかった利用者が言葉を発したりと「意欲を引き出す」要因となりました。しかし、車椅子を利用する方を想定した設備であった為、手すり等の不足が感じられました。その為、福祉用具事業者と連絡を取り、手すりの設置、その他福祉用具を設置するなど環境面での配慮を行いました。	
	実施・(一部実施)・未実施	A・(B)・C
個人の障害の特性・個性とその環境に生じる可能性のある領域を確認し必要な措置をとります。	状況 個々人の身体機能・精神状態・性格・性質等と居住環境・活動時の環境の影響を考え、歩行時の手すりの使用方法・排泄を行う際のトイレの場所・居場所づくりの為に日中座る場所など個々人の生活スタイルを一年間かけ把握し、24時間シーートの作成に取り掛かった。	
	(実施)・一部実施・未実施	(A)・B・C
多職種との連携を図り様々な援助計画に反映させ生活モデル・システム理論・医学モデル等の視点をすり合わせよりよい援助が提供出来るよう職員間・家族等のソーシャルネットワークの構築を目指していきます。	状況 個々の障がいの特性を考慮し、個々の好みの活動内容(作業)を関係職員と話し合い提供した。また、理学療法士・看護師・栄養士・支援員と様々な課題に対して協議し生活支援へと繋がった。	
	(実施)・一部実施・未実施	A・(B)・C
地域の環境を活用し園外での活動も視野に入れ社会との交流を図っていきます。	状況 週2回のドライブ、年間3回の体験デイを計画し温泉や市街地での買い物を実施。自分で衣類を選ぶ楽しさなどを体感していただいた。外出先でのふれあいもよい交流となったようである。	
	(実施)・一部実施・未実施	(A)・B・C
利用者の生活に関わる中で健康面に配慮し心身の状態観察をこまめに行い医療スタッフとの連携図りつつ健康の維持に努めていきます。	状況 健康チェックを行い日々の状態観察を実施し、看護職員・栄養士と連携し様々な疾患の処置・対応・食事形態の検討等を行いより良い生活が営めるように配慮できた。	
	実施・(一部実施)・未実施	A・(B)・C
ミクロ・メゾ・マクロの社会福祉領域の視点を持ち様々な支援を通し幅広い視野と専門性を育てていきます。	状況 エデンの園での生活を第三者からの視点で物事を考え、幅広い視野と専門職としての視点(エデンの園では当たり前なことだが一般社会の視点から見たらどうだろうか)を持って生活支援を進めた。 ミクロ領域(個人レベル) 利用者一人一人の障がい特性、加齢による心身状態の把握を行いそれに沿って個別支援計画書を元に生活支援を提供し、排泄パターンの把握、身体機能の維持の方法などを検討しより良い生活が提供できるように配慮した。 メゾ領域(家族・地域等) 利用者一人一人の生活支援を元に住み慣れた地域や他地域での買い物(体験デイ・ドライブ)疾病時の通院等を医務職員と協力し行いました。担当職員を中心に家族との連絡・情報共有を図り、日々の生活支援へと繋がってきた。 また、福祉用具業者と連携をとり、花の街居住棟の補助具を整備し、身体機能に対する補助、事故防止に配慮した。 マクロ領域(国・法令等) 高齢化に伴う、新たな生活支援のスタイルを構築することを目指して、今後の花の街の体制を障がい者総合支援法の内容に介護保険で行われているサービスの形態を照らし合わせてエデンの園独自の「高齢者支援・介護棟支援」を進めて行く予定ではしたが行えなかった。	

●事業実施についての目標達成の状況・課題・提案等

利用者の高齢化・重度化が進んでいることから、旧ひまわり棟を改築し居住環境・生活介護の場所の整備を行い、より良いケアサービスを提供できる環境の下で生活支援を提供してきた。食事体系の変革、入浴体勢の変革など生活全体の体制を花の街ならではの生活の確立を目指した。その結果、以前されていた調理や自発的な歩行を促すことが出来き、生活の再構築の一片を見出せた。職員においては、花の街＝介護技術という傾向が強くなりケアワーカーとしての視点がその中心となり、個々人の生活の全体像を把握するエデンの園職員の本来の考えであるソーシャルワークの視点が弱くなり様々な作業、行程等の提供が上手くいかなかった。今後、職員間での勉強会を通して更なる専門的知識・技術・倫理等を学ぶ必要があります。

評価基準：方針(目的)に対して～A：達成　B：一部達成　C：未達成

4-5. 平成29年度 事業報告書

フローラ班 風の街

期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

方針 (目的)	一人ひとりの障害の特性・個性または、加齢による心身の変化を理解し、潤いと意欲を持ってその人らしい活力のある生活を営める環境を構築します。また、状態の変化に気付けるよう日々の観察を小まめに行い健康の維持を図ると共に心身の廃用症候群を防止するために残存機能を活かす支援を行います。	
支援方針	支援の実施	評価
個人と環境の間に生じる不均衡からもたらされる問題を確認しその問題を解決もしくは緩和できるように援助していきます。	(実施)・一部実施・未実施	A (B)・C
	状況	利用者一人一人の心身の状態観察を行い、何か問題が起きた際には個人と環境の関係性を常に考え、風の街職員全員で話し合い利用者の全体像を把握し生活支援を進めて行きました。異食や余暇の過ごし方のアプローチが今後の課題だと感じた。
個人の障害の特性・個性とその環境に生じる可能性のある領域を確認し必要な措置をとります。	(実施)・一部実施・未実施	A・(B)・C
	状況	個々人の身体機能・精神状態・性格・性質等と居住環境・活動時の環境の影響を考え、生活・活動に不具合が生じている場合には、生活・活動場面における環境の構造化など個々人の生活状況に合わせた生活支援を進めた。
多職種との連携を図り様々な援助計画に反映させ生活モデル・システム理論・医学モデル等の視点をすり合わせよりよい援助が提供出来るよう職員間・家族等のソーシャルネットワークの構築を目指していきます。	(実施)・一部実施・未実施	A (B)・C
	状況	個々の障がいの特性を考慮し、個々の好みの活動内容(作業)を関係職員と話し合い提供した。また、理学療法士・看護師・栄養士・支援員と様々な課題に対して協議し生活支援へと繋げていきました。特に生活リハビリの観点を意識し、出来る事は自らして頂くことで、衣類の着脱や掃除など意欲的な場面が多く見られた。
地域の環境を活用し園外での活動も視野に入れ社会との交流を図っていきます。	(実施)・一部実施・未実施	A (B)・C
	状況	週2回のドライブ・年間3回の体験デイを計画し温泉や市街地での買い物、普段味わうことの出来ない体験や、気分のリフレッシュ等を通して居住する地域、住み馴れた地域以外での行動を通して社会との交流を進めていきました。
利用者の生活に関わる中で健康面に配慮し心身の状態観察をこまめに行い医療スタッフとの連携図りつつ健康の維持に努めていきます。	実施・(一部)実施・未実施	A (B)・C
	状況	健康チェックを行い日々の状態観察を実施し、看護職員・栄養士と連携し様々な疾患の処置・対応・食事形態の検討等を行いより良い生活が営めるように配慮していきました。しかし、排泄面に関しては、一人ひとりの排泄パターンを日々の記録へ残していき、個々に応じた誘導やケアを行う予定でしたが、上手く記録が活用できず以前同様の定時全体誘導・ケアになってしまいました。
ミクロ・メゾ・マクロの社会福祉領域の視点を持ち様々な支援を通し幅広い視野と専門性を育てていきます。	実施・(一部)実施・未実施	A (B)・C
	状況	エデンの園での生活を第三者からの視点で物事を考え、幅広い視野と専門職としての視点(エデンの園では当たり前のことだが一般社会の視点から見たらどうだろうか)を持って生活支援を進めていきました。 ○ミクロ領域(個人レベル) 利用者一人一人の障がい特性、身体状況の変化による心身状態の把握を行いそれに沿って個別支援計画書を元に生活支援を提供し、排泄パターンの状況把握、身体機能の維持の方法などを検討しより良い生活が提供できるように配慮しました。しかし上記したように排泄支援の見直しが進まず今後の課題だと感じました。 ○メゾ領域(家族・地域等) 利用者一人一人の生活支援を元に住み慣れた地域や他地域での買い物(体験デイ・ドライブ)疾病時の通院等を医務職員と協力し行いました。担当職員を中心に家族との連絡・情報共有を図り、日々の生活支援へと繋げていきました。 ○マクロ領域(国・法令等) 障がい者総合支援法とその他の福祉系法令・精神保健福祉法等と内容を擦り合わせエデンの園独自の生活介護スタイルを確立し新たな障がい者支援のあり方を模索してきたが、具体的なものは見いだせなかった。

●事業実施についての目標達成の状況・課題・提案等

利用者の障害の特性・心身の障害の重度化を把握し潤いと意欲を引出し、その人らしい生活を営める環境を構築する事を目指し、それまでのエデンの園での生活スタイルを変え午前中の入浴、午後からの活動の充実を図り皮膚の状態・身体の状態・生活機能の範囲など利用者一人一人の細かな観察をすることができました。しかし、課題も多く見つかり、個々に対する排泄ケアの確立、異食への配慮、余暇の充実が次年度の課題と感じました。年度当初の配置人数と変更があり、少ない人数での支援を余儀なくされることが多くあり、パート職員への負担も増大したことも反省に挙げられます。次年度は今年度当初の配置人数を確保し、現在の継続した支援と共に上記した課題に対しても取り組んでいきたいと思っております。

評価基準：方針(目的)に対して～A：達成 B：一部達成 C：未達成

4-6. 平成29年度 事業報告書

ちゅら班

期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

方針 (目的)	一人ひとりの障がい特性を理解した上で、個別に統一した支援を行う。また、様々なこと（作業・体験・外出等）にチャレンジ、経験をすることで、個々の新たな可能性・楽しみを見出していく。	
支援項目	支援の実施	評価
《作業》 陶芸・園芸・白杖・点字・構造化支援 ケアデイ（保健衛生・整容面のケア）	実施・ 一部実施 ・未実施	A ・ B ・ <u>C</u>
	状況	今年度は、シーサー（陶芸）・ハイビスカス（園芸）・オリオン（構造化支援）3グループに分かれて実施。 シーサー：陶芸を行う回数が少なく、作品は出来上がっていないが、視覚障がいのある利用者は、粘土の質感、感触、温度などを指先や手の平で感じることで、癒しにも繋がったと思われる。白杖では、正面玄関から陶芸室まで点字ブロックと白杖を使い、職員の見守りのもと白杖歩行を行った。また、陶芸室では粘土がしたくないといった視覚障がいの利用者が居た場合には、点字で手紙うちを行った。 ハイビスカス：園芸を行った。天候などに左右されながらもじゃがいもを栽培した。出来上がったものを食することで、栽培の楽しさを感じる事が出来たと思われる。その他は、ジョイハウスの清掃、館内ウォーキングを行った。ウォーキングを行う事で、体重増加の予防に繋がっている利用者もいた。 ※シーサー・ハイビスカスは、年間を通して、行事の装飾準備などを行った。合同ですることが多く、口腔ケアや保健衛生が主となっていた。 オリオン：計画的に構造化支援を行った。旧ショコラ室で個別にプログラムを実施した。スケジュール支援が必要な方に関しては、日課をスケジュールで管理した。カード支援が必要な方に関しては、その人にあった提示方法（写真、イラスト、マーク、モデル等）を日々の生活からアセスメントを行い、支援に活かしている。
《運動》 地域散歩・ボール運動・ラジオ体操 風船バレー	実施・ 一部実施 ・未実施	A ・ B ・ <u>C</u>
	状況	地域散歩：実施出来なかった。他グループと合同になり保健衛生などを行った。また、職員が確保出来た時には、陶芸や園芸等の作業に重きを置いた。 ボール運動・風船バレー：シーサーが、交流館でボール等を使った運動を実施。シーサーは、視覚障がい者が多いグループだが身体機能、理解力に長けている方もおり、楽しんで運動ができた。 ラジオ体操：健康チェック時に、全体で行った。集中が難しい方、視覚障がいのある方、身体障害を有している方が所属しているため、1人ひとりの支援が難しい場面もあった。 ※リハビリ計画書をもとに、運動、生活リハビリを行った。
《レクリエーション》 調理・誕生会・買物・ドライブ カラオケ・ゲーム・ティータイム	実施・ 一部実施 ・未実施	A ・ <u>B</u> ・ C
	状況	年間を通して、誕生会・買物・ドライブ・カラオケ・ゲームを毎月実施した。全体での調理はサポート量が多く実施が難しかった。カラオケ・ゲーム等は好評で自分を表現する良い機会となっていた。

●目標達成の状況・課題・提案等

当初の目的は、色々なことにチャレンジすることだった。その為、固定の作業内容は決めず行えることをやっていくという漠然とした計画だった。しかし、何を行えばよいのかわからないまま一年間が過ぎていった。年度途中で、午前は作業、午後は入浴と固定したことで、利用者にはわかりやすい日課となった。しかし、午前中だけの作業だと思いうように作業も進まない。午後からの入浴もそれぞれの障がい特性に対応すると、16時過ぎまで入浴に時間が掛かる。また、状態が不安定な利用者がある時には、その日その日で時間が左右される。急な職員の有給（体調不良等）や他活動班へのヘルプに回ったり、職員数の確保も難しかった。又、職員が確保できても、一人ひとりの支援スキルが伴っていないことや、パート職員のみでの配置を避けると、活動を合同で行わなければならない場面が多々あった。29年度を振り返り一番の問題は、記録の方法と記録する時間の確保だった。

体験デイでは、年に3回を計画しており、3回目はちゅら班利用者全員（もしくは半数・半数に分かれて）で、小旅行的な外出を年度初めは考えていたが、障がい特性の混在と職員確保の困難（在園者の支援する職員）があり、実施出来なかった。その分、体験デイは、個々の身体機能、障がい特性に配慮した外出ができた。

目的にあげていた、チャレンジ、経験を通して、可能性や楽しみを見出すことはできなかった。次年度に向け、日中の活動を充実させ、可能性を導く出す為には、体制、日課の見直しが必須である。

※評価基準～方針（目的）に対して、A：達成 B：一部達成 C：未達成

4-7. 29年度 医務事業報告

医務主任 緒方市郎

国の進める方向性や当園の中長期計画に従い、利用者様の地域移行を模索しながら進んだ一年でした。グループホーム青い鳥に移行した利用者様は皆、生き活きとし、小単位の家庭的な生活の場の良さがはっきりと見えました。地域支援センターも、国富町と密に繋がり地域から頼られる、地域に根づく法人の橋渡しとなったと感じています。平成30年度より、地域に看護師を配置し、施設から地域へのスムーズな移行ができる仕組みを作る予定です。その試みとして平成29年4月から地域医療連携体制を整え訪問等を行ってきました。生みの苦しみはありますが、利用者様を様々な意味で支えられる法人に成ればと、次年度に希望を込めた一年でした。

平成29年度の通院・入院の状況をみると601件(+18件)※カッコ内は前年度比。入院については8件(-1件)となっています。通院全体をみると昨年と比べ、診療科によって大きく変化していました。看護師の入職・退職による月単位の変化は勿論でしたが、眼科が62件(+28件)、外科が26件(+14件)と増え、高齢化にともなう転倒や、白内障等の眼疾患の影響が考えられました。それに対し、内科の通院数が154件(-15件)。その背景には、歯科の通院数が178件(+32件)と増えており、口腔内を清潔に保つ事が疾病予防につながったのではないかと考えています。更に、歯科福祉センター往診による検診・口腔ケアの結果では、良くなった49名、変わらず12名、悪くなった3名と昨年よりも良くなった方が20名増えており、予防が行なえ内科の通院数が減った裏付けとなっています。

また、感染症対策を始めて6年目となりましたが、その中で一番隔離者の少ない年となりました。インフルエンザについては、流行時期は感染者を出す事がなく、流行警報が終息となった翌日に感染者がでてしまうといった異例の事はありましたが、感染者を4名に留め、病院からお褒めを頂いた程でした。一番は職員・家族の意識の向上が大きかったと思いますが、11月から電解水生成装置機を園内に置き、加湿器での噴霧、消毒効果の高い新鮮な消毒液を持つように職員が動いた事も要因と思っています。

29年度の医務の目標として、口腔衛生、感染予防、安全(転倒・転落予防)をあげていました。前述したように、口腔衛生、感染予防については目標を達せたと思っていますが、安全については骨折者が6名も出てしまい、昨年を上回る悪い結果を出してしまいました。朝礼・終礼を使い全体へ床濡れに対する声かけ、床濡れへの即時対応、利用者様の座位姿勢の指導、転倒転落のアセスメント方法の声かけを行い、さらに理学療法士の増員で個別に利用者様の元を回っていました。進む高齢化に対応してきたつもりですが、次年度への課題を残してしまいました。

次年度には新たなグループホームが建設され地域に看護師、理学療法士が配置される予定です。地域の活性に繋がるとは思いますが、全国知的障害者福祉関係職員研究大会の行政説明では、高齢・重度化が全体の12%を地域移行としていた目標を9%に下げたと、難しさを話されていました。また、2030年には施設を含む在宅で終末を迎えないといけない方が47万人といった話もあり、一層、地域での医療者の役割が重要に感じられる話ばかりです。今年で医務といった部署はなくなりますが、専門職は各々の場所で力を発揮していきます。また、一人一人が法人内で力を発揮しなければ、法人の目標は達成できません。

平成29年度 通院・健診検査・入院状況一覧

月	内科		外科		精神科	整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	歯科	婦人科	通院合計	健診(通)	健診(内)	健診合計	給付費外	田中外科	井上病院	入院時支援	歯科福祉	入院
	田中外科	その他	田中外科	その他	精神科 神経科												内科診察	精神科診察		口腔ケア	
4	7	0	0	2	6	4	0	6	0	15	1	35	8	87	95	2	0	13	3	4	井上病院1名
5	5	2	6	0	0	3	53	13	0	13	6	101	0	0	0	11	10	15	0	5	
6	3	1	0	0	3	15	12	5	0	18	2	59	0	0	0	7	10	9	2	11	宮崎大学医学部付属1名
7	3	3	0	0	2	6	1	2	0	11	3	31	0	0	0	5	9	14	0	11	
8	7	4	3	0	2	6	0	3	0	19	0	44	0	0	0	5	11	9	0	10	
9	4	2	7	0	1	7	0	2	0	18	2	43	0	0	0	3	5	14	1	11	井上病院1名
10	10	2	0	0	2	4	0	10	0	14	0	42	0	100	100	5	0	13	5	5	
11	42	2	0	2	0	3	0	4	0	12	2	67	6	0	6	13	20	8	4	10	県立宮崎1名 井上病院1名
12	13	3	0	1	1	8	4	3	0	9	1	43	5	0	5	10	9	14	3	10	県立宮崎2名
1	7	5	0	2	3	5	0	5	1	8	2	38	14	0	14	23	0	13	6	11	
2	8	2	4	0	1	3	0	5	0	15	0	38	15	0	15	24	0	10	0	11	
3	18	1	1	0	3	4	0	4	0	26	3	60	5	0	5	18	17	14	3	11	県立宮崎病院1名
計	127	27	21	7	24	68	70	62	1	178	22	601	53	187	240	126	91	146	27	110	

入院状況

性別	病名	入院機関	入院期間
男性	大腿頸部骨折	宮崎県病院	平成30年3月14日～入院中
男性	鼠径ヘルニア	宮崎県病院	平成30年1月17日～1月23日
男性	胃潰瘍	宮崎県病院	平成30年1月8日～1月16日
男性	水中毒	井上病院	平成29年10月17日～平成30年1月17日
男性	鼠径ヘルニア	宮崎県病院	平成29年10月14日～10月17日
男性	水中毒	井上病院	平成29年9月15日～10月14日
女性	白内障 網膜剥離	宮崎大学附属病院	平成29年6月8日～6月17日
男性	知的障がい	井上病院	平成29年1月24日～4月15日